

福生市議会だより

FUSSA

No.171

発行 福生市議会

平成21年7月25日

〒197-8501 福生市本町5番地

☎042(551)1511(代表)

☎042(551)1523(ダイヤルイン)

平成21年第2回定例会



▲子ども応援館の活動風景

▼2日目（3日）は、1日目に引き続き4人の議員が、救急情報の活用支援事業について、住宅用火災報知器等について、女性への影響について、女性の健康支援についてなど

▼5日目（19日）は、定例会の最終日で、4日目

福生市表彰条例に基づく自治功労表彰及び一般表彰についての2議案は、委員会への付託は省略し、即時に採決が諮られ、原案同意となりました。

※5月29日開催の臨時会の内容は5面に掲載しました。

平成21年第2回定例会が、6月2日から19日まで18日間の会期で行われ、16人の議員による一般質問の後、福生市基本構想（第四期）の制定や条例の廃止・改正、補正予算の認定等14議案と議員提出議案1件、陳情6件等の審議が行われました。

▼1日目（2日）は、一般質問通告者が16人で16時間30分の通告時間であること、議案を付託すること、委員会の開催日数等を勘案して、会期を18日間と

給付金について、七夕まつりについて、高齢者に優しいまちについて、熊川分水について、新型インフルエンザ対策についてなど、市の行政全般にわたる一般質問が行われました。今定例会も第1回定例会と同様に試行的に一問一答方式を取り入れ、一括方式との選択制としました。

▼2日目（3日）は、3日目に残った議員が、商業振興について、定額給付金について、七夕まつりについて、高齢者に優しいまちについて、熊川分水について、新型インフルエンザ対策についてなど、市の行政全般にわたる一般質問が行われました。今定例会も第1回定例会と同様に試行的に一問一答方式を取り入れ、一括方式との選択制としました。

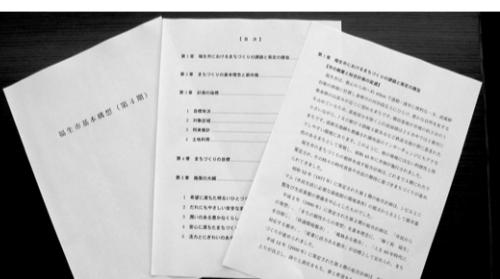
その後、市長から提出された福生市第四期基本構想の制定、条例の廃止や改正、補正予算等議案12件と議員提出議案1件を行いました。

▼3日目（4日）は、3日目に残った議員が、商業振興について、定額給付金について、七夕まつりについて、高齢者に優しいまちについて、熊川分水について、新型インフルエンザ対策についてなど、市の行政全般にわたる一般質問が行われました。今定例会も第1回定例会と同様に試行的に一問一答方式を取り入れ、一括方式との選択制としました。

1 基地交付金及び調整交付金については、今年度は固定資産税の評価替えの年度にあたるため、これまで3年ごとに増額されている経緯を十分踏まえ、平成22年度予算において増額するとともに、基地交付金の対象資産を拡大すること。
2 基地周辺対策経費の所要額を確保するとともに、各事業の補助対象施設及び範囲を拡大すること。特に、特定防衛施設周辺整備調整交付金については、これまでの経緯を踏まえ平成22年度予算において増額すること。（提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、防衛大臣、衆・参議院議長）

本会議の経過

福生市第四期基本構想の増額を可求決



第四期基本構想

基地対策予算の増額等を求める意見書（議員提出議案）

基地施設周辺の市町村は、基地所在に伴う諸問題の解決に向けて鋭意努力しているところである。

しかし、基地関係市町村は、世界的な経済危機に伴う大幅な税収減や、基地所在に伴う特殊な財政需要の増大等により大変厳しい財政状況にある。

こうした基地関係市町村に対しては、これまで総務省所管の固定資産税の代替的性格を基本とした基地交付金（国有提供施設等所在市町村助成交付金）及び米軍資産や住民税の非課税措置等の税財政上の影響を考慮した調整交付金（施設等所在市町村調整交付金）が交付されている。

また、米軍等の行為又は防衛施設の設置・運用により生ずる障害の防止・軽減のため国が責任において基地周辺対策事業が実施されている。

基地交付金・調整交付金については、基地所在による特別の財政需要等にかんがみ、固定資産税の評価替えの翌年度において

て、平成元年度より3年ごとに増額されてきており、あわせて、防衛省所管の特定防衛施設周辺整備調整交付金も増額されてきた経緯がある。

よって、国におかれでは、基地関係市町村の実情に配慮して次の事項を実現されるよう強く要望する。

主な内容

- 可決された案件 2面
- 一般質問 3~6面
- 臨時会の内容 5面
- 委員会の審査・特別委員会活動 7~8面